

世界に

羽ばたく力をつけよう



国際バカロレア ディプロマ・プログラム

2024 Shiga Prefectural Torahime High School
滋賀県立虎姫高等学校



国際バカロレア (IB) ディプロマプログラムを実施しています。



世界が認めるプログラムに挑戦

国際バカロレア (以下 IB) [本部ジュネーブ] は、多文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でより良い世界に貢献できる若者を育成する目的で、国際水準の教育プログラムを提供しています。ディプロマプログラム (DP) は、16歳～19歳までを対象とした高度で専門的・探究的な学習プログラムです。

現在、私たちが生きる社会は、少子高齢化、経済格差、地方の過疎化、地球温暖化など複雑で、「正解」が1つでない問題を数多く抱えています。このような問題に対して、今までの「先生が知識や正解を教える」教育だけでは解決できないことがたくさんあると、本校の教師たちは気づき授業改善を始めました。

そんな時に出会ったのが IB のディプロマプログラム (以下 DP) でした。その後約5年間、DP について研究や研修を重ね、ようやく、2019年3月に IB ワールドスクールとして認定を受けることができたのです。

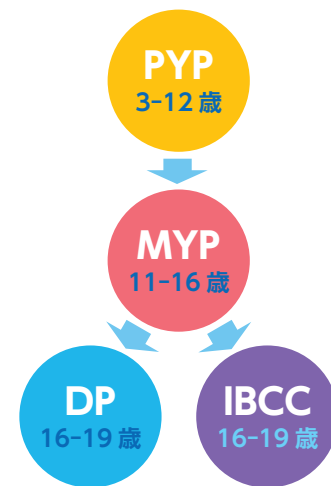
DP の学習の中心は生徒です。これからの時代は、今まで以上に、自分で考え挑戦していく力が求められ、生涯にわたって学び続ける人が必要になっていくでしょう。下に、IB が提案する「IB10の学習者像」が示されています。この学習者の姿を目指すことで、国際的視野と世界に通用する能力や資質を有するグローバルな人へと成長できます。

世界に羽ばたく力を養うことができる学習プログラム、それが IBDP なのです。

本校 IBDP 開始から5年目を迎え、その真価と可能性の大きさを生徒も教師も感じています。

そんな私たちと一緒に、あなたも世界が認めるプログラムに挑戦してみませんか。

年齢に応じた IB のプログラム



※ IBCC は、職業訓練のプログラム

「IB 10の学習者像」

探究する人 inquirers

知識のある人 knowledgeable

考える人 thinkers

コミュニケーションができる人 communicators

信念を持つ人 principled

心を開く人 open-minded

思いやりのある人 caring

挑戦する人 risk-takers

バランスのとれた人 balanced

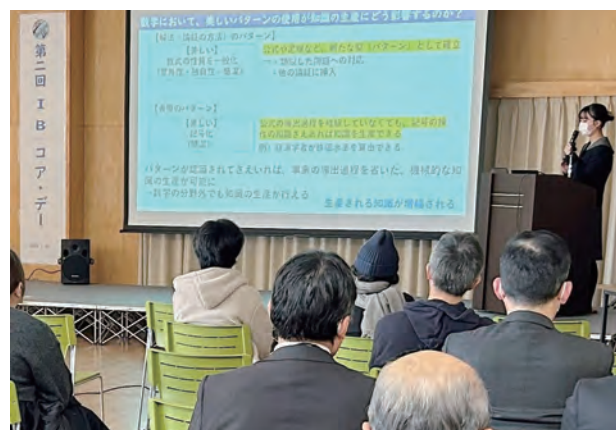
振り返りができる人 reflective



IB コア・デーで CAS の
取り組みを展示



グループディスカッション



IB コア・デーで TOK エッセイについて発表



興味・関心に応じ選択する DP 科目

IBDP を学習する生徒 (以下 IB 生) は約 2 年間かけてチャレンジに満ちた 6 つの科目および 3 つの「コア科目」を学びます。

●本校の IBDP の実施について

生徒数	◇各学年最大20名 入学時に IBDP を希望する生徒を募ります
コース 期 間	◇約 2 年 1 年 2 学期末より IBDP がスタート IB 資格試験 3 年次 10 ~ 11 月

●実施科目

◇ 6 つの教科グループ (各グループから 1 科目ずつ選択して学習します)

教科グループ名	実施科目	使用言語
1 言語と文学 (母国語)	文学 (SL, HL)	日本語
2 言語習得 (外国語)	英語 (SL, HL)	英語
3 個人と社会	環境システムと社会 (SL)	英語
4 理科	化学 (SL, HL)	日本語
5 数学	数学 (SL, HL)	日本語
6 芸術 (本校では代替科目として右の 3 科目を実施)	歴史 (HL)、物理 (HL)、生物 (HL)	日本語

◇コア科目

TOK (知の理論)	「知の本質」について考え、「知識に対する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。
CAS (創造性・活動・奉仕)	創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬での自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組む。
EE (課題論文)	履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、研究成果を 8,000 字の論文にまとめる。

6 つの科目のうち 3 科目は上級レベル (HL)、残りの 3 科目は標準レベル (SL) で学びます。2 つのレベルは、授業時間数や学習の深度が異なります。「環境システムと社会 (右図: EnSS)」と選択科目以外は、興味・関心に応じレベルを選びます。選択科目の歴史・生物・物理からは 1 科目を選ぶことになります。右図を参考にしてください。

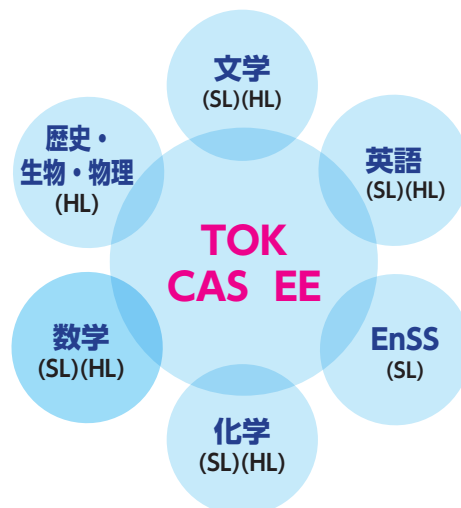
「コア科目」は、DP の学びの核となります。

◆文部科学省指定の必履修科目も学びます。

現代の国語、言語文化、地理総合、歴史総合、公共、数学 I、物理基礎、化学基礎、生物基礎、体育、保健、芸術、英語コミュニケーション I、家庭基礎、情報 I、総合的な探究の時間

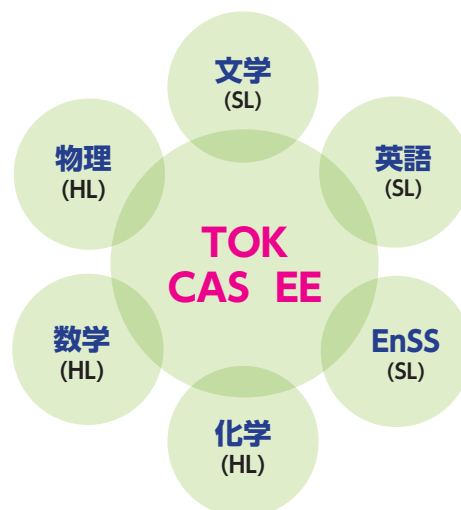
(一部の科目は、スーパーサイエンスハイスクールや国際バカロレアの特例措置により別の科目に変えて学びます。)

虎姫高校の DP モデル

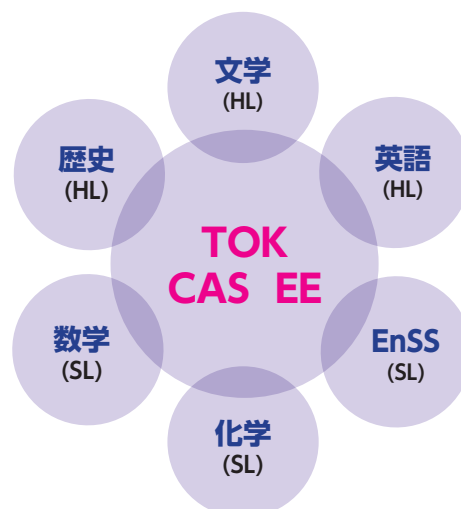


※時間割の関係上、[文学と化学]、[英語と数学] については、同じレベルを選ぶことはできません。

[A] 理系科目を重視した選択例



[B] 文系科目を重視した選択例



虎姫高校IB生が IBDPをご紹介します

コア科目
各教科での学びをつなぐ
TOK / CAS / EE

TOK

Theory of Knowledge



TOK「知の理論」では、「知識に関する問い」を通して、知るということや知識について深く考えます。ディスカッションを通して、物事の本質や新たな視点に気づかされることも多く、繰り返しエッセイを書くことで、自分の意見をわかりやすく伝えるスキルを身につけることができます。

3年生 関戸晴喜

CAS

Creativity Activity Service



私は世界遺産に関わるポスターを作成して教室に掲示したり、他のIB生と協力し、地域の高齢者と子ども達を対象にしたイベントを企画、実施したりしました。勉強だけでは得られない新たな学びや成長のチャンスが得られること間違いなしです。

卒業生 八田かれん

EE (物理)

Extended Essay



EEは研究テーマを決め、実験方法を考え、誤差を評価し、論文にまとめるまで、すべて一人で取り組みます。大変ですが、だからこそやりがいがあり、論文を書きあげたときの達成感には普通の教科では味わえないものがあります。

卒業生 小林千里



デュアル・ランゲージー日本語と英語でー

本校のDPは、デュアル・ランゲージです。“デュアル”は「2つの」、 “ランゲージ”は「言語」です。つまり、日本語と英語でDPを実施することを表しています。

IB生は、「英語」と「環境システムと社会」(以下EnSS)を英語で学びます。日本語と英語の運用能力をバランスよく高め、いずれの言語を使用しても意見や考えを表現しやりとりできるような、国際社会で通用するスキルを身につけることができるのです。

EnSS

Environmental Systems
and Societies



私たちが住んでいる地球についてより深く学び、考えることができるととても魅力のある科目です。授業はすべて英語で行われ、理解することは簡単ではありませんが、英語力が大いに伸びたと感じています。フィールドワークやミニ生態系を作るなど野外活動もあり楽しいです。

卒業生 渡辺瑚子

英語

English



様々なテーマに沿ってスピーチを作ったり、ミニ英作文を書いたり、アウトプットの機会が非常に多いです。そのため、覚えたての英単語や表現がどんどん自分の知識となっていくます。また、仲間と互いのスキルを高め合える素晴らしいカリキュラムだと感じています。IB English is always GOAT!!

卒業生 松田美里



Environmental Systems and Societies とは？

国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」を知っていますか？その目標は、私たち地球市民にとって、気候変動や海洋汚染などの対策が、21世紀の最優先課題だと気づかせてくれます。しかも、私たちが住む滋賀県は琵琶湖を有し、山々に囲まれた自然豊かな生態系にあり、身近に水や自然などの環境問題が存在します。

EnSSは、このような地域特有の問題を含めた環境問題について、グローバルな視点から、その成り立ちと人間活動への影響について英語で学び、自分たちができることについて探究し思考を深め、英語で発信する力をつける学習です。



ミニ生態系をつくる EnSS の実習



本校のディプロマ・プログラムについて、詳しくは7月7日(日)「滋賀県教育委員会主催 国際バカロレア説明会」(場所: 米原市米原学び合いステーション)、8月6日(火)「オープンIB」(場所: 虎姫高校)に参加いただくか、直接担当者までお問い合わせください。「国際バカロレア説明会」、「オープンIB」のお申し込みについては、本校 HP に記載しています。また、HP ではIB生の様子やさまざまな情報を発信しています。



EE (歴史)

Extended Essay



一つのテーマを半年間追求するため、文献収集力、分析力、批判的思考力が身につきます。文献を基に自分の意見も含め客観的にまとめるのは難しいですが、先生と面談を重ね、自分がテーマの本質を理解し、良い分析ができるようになります。多様な視点や日本独自の視点にも気づく事ができました。

卒業生 藤田かおり

歴史

History



主に近現代を扱い戦争や冷戦など国家間の争いについて学びます。いつでもどこで何が起きたかだけでなく時代背景や人物の思想などを包括的に用いてなぜ起こったのか、なぜその決断をしたのか、また資料がどの程度根拠となるかなどを考えます。一見難しそうですが、私は多様な視点をを用いて判断するスキルが身についたと感じます。

3年生 勝間志央



文学では、日本だけでなく、世界のさまざまなジャンルの文学作品を扱います。グループ学習で自分の考えを共有し、作品の理解を進めます。

文学

Literature



唯一の正答にたどりつくことを目的にせず、各自の見方から作品の分析を行います。一つの作品をじっくり深く探究する面白さに興味がある人はきっと楽しめると思います。また、小論文形式で文章を書く機会が多く、そのような文章を書く力も確実に伸びたと感じています。

卒業生 藤 唯可

数学

Math



グループ学習をすることが多いです。わからない点をお互いに教え合いながら学習することで、自分のできるところとできないところが明らかになります。また、説明する能力も向上します。ただし、自学自習をすることも同じく重要だと感じています。

卒業生 和田直也

生物

Biology



「なぜ汗をかくのか?」「身長が1人ひとり違うのはなぜか?」「PCR検査はどんなしくみなのか?」など普段から疑問に思っていた現象を生物の知識を使って理解するのはとても面白く、授業が毎回楽しみです。学んだことを自分の言葉で発表する機会も多くあり、説明する力も身につけることができます。

卒業生 石田千智

化学

Chemistry



実習の多さが魅力です。日常生活と化学のつながりに気付かされることが多く、化学の面白さを実感しています。楽しさと共に難しさを感じることもあります。探究する機会が多く、レポート等の執筆も上達するので、将来研究系の進路を希望する人におすすめです。

卒業生 隼瀬紗愛

物理

Physics



物理は物体の動きを解き明かす学問で、IB科目の中でも難しいと言われる。その理由は、ただ数字を当てはめていくだけではなく、なぜこうなるのかを理解していなければ解けない問題が多いからです。少人数であり、授業中に質問しやすく、確実に授業内容を理解する上でとても恵まれた環境だと感じています。

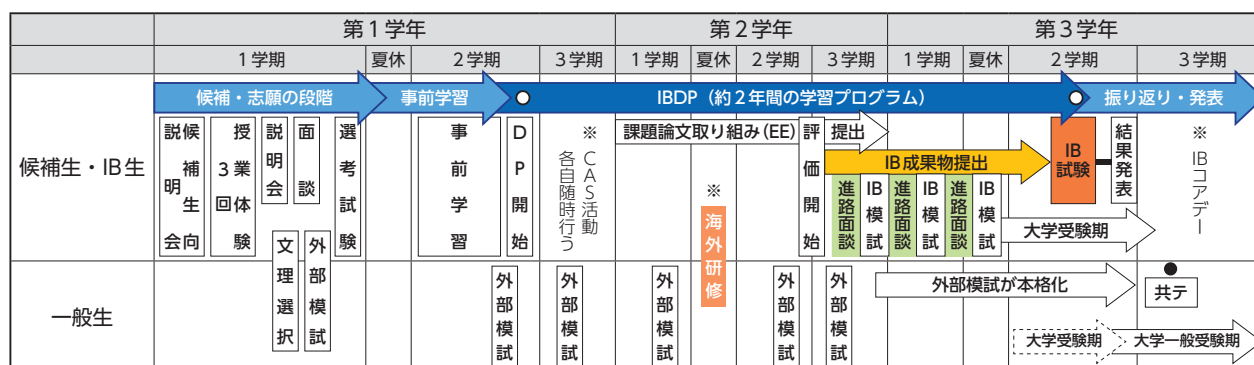
3年生 中山蓮聖



化学 HL などでは、立てた問いを明らかにするために、ふさわしい方法や道具、分量を自分たちで考えながら、実験を進めていきます。



3年間の大まかな流れ



IB生の成績評価

IBが評価する成績スコアは、6つの科目それぞれに「内部評価」と呼ばれる探究的な課題と、「外部評価」と呼ばれる筆記試験の評価を合わせて7段階で算出されます。内部評価は、第2学年後半から第3学年前半にわたって断続的に実施します。外部評価(筆記試験)は、第3学年10月下旬から11月上旬の約2週間にわたり行われます。

TOK(知の理論)とEE(課題論文)の成績は、A(最高)からE(最低)の範囲で評価され、あわせて最高3点が付与されます。CAS(創造・活動・奉仕)は修了していることが要件となります。DPの最高点は、合計45点です。最終成績結果で45点満点中24点以上のスコアを獲得することなどいくつかの条件を満たすことで、国際的に認められている大学入学資格であるIB資格を取得することができます。

本校のIB生は、学期末に、一般生と同じような10段階成績の通知票に加えて、IBの7段階の通知票をもらいます。

また、外部評価の模擬試験を第2学年3月、第3学年6月と8月に受験して、予測スコアを受け取り、大学入試の出願に利用します。実際の最終成績結果がIB生に通知されるのは第3学年12月となります。



IB資格と進路

海外の多くの大学では、IB資格が入学資格として幅広く受け入れられ、また、入学選抜にあたっては、IB資格のスコアが広く活用されています。

日本国内の大学でも、IB資格のスコアなどを活用した入学者選抜が積極的に導入されています。IB資格を活用した入試制度については「文部科学省コンソーシアム」ホームページ「国際バカロレア(IB)とは？」内の「IBを活用した入試」(右QRコード)を参考にしてください。



国内の大学受験では、IB資格のスコアを活用する場合もしない場合も、総合型選抜入試等を利用することが多いです。IBの学習は、一般入試を照準にしたものではなく、古典や歴史等を自学自習で進めなければならないので、一般入試はおすすめしていません。実際に、IBコースの卒業生のほとんどが一般入試ではなく総合型選抜(IB資格利用を含む)または学校推薦型選抜を利用して大学受験しています。

過去2年間のIB生大学合格状況(のべ人数)

海外大学	国公立大学	私立大学
プリティッシュコロンビア大(カナダ) 森林科学部 (1名) マギル大(カナダ) 農業環境科学部 (1名) 環境学部 (1名) フィーンズランド大(オーストラリア) 環境科学部 (1名)	金沢大 経済学部 (1名) 京都府立大 環境科学部 (1名) 大阪公立大 現代システム科学域 (4名) 岡山大 法・経済・教育学部 (3名) 岡山大 理学・工学 (2名) 広島大 法学部 (1名) 九州大 教育学部 (1名)	上智大 理工学部 (1名) 専修大 経済学部 (1名) 国際基督教大 教養学部 (1名) 武蔵野美術大 造形学部 (1名) 女子美術大 芸術学部 (1名) 金沢工業大 工学部 (1名) 京都外国語大 国際貢献学部 (1名) 京都産業大 外国語学部 (1名) 関西外国語大 外国語学部 (1名)
※全てIB資格を利用して出願		
		ほか

卒業生からのメッセージ



小林千里さん

ブリティッシュ
コロンビア大学
(カナダ)

森林科学部

1 回生

出身中学

湖北中学校

IBでは豊富なディスカッションや実験、レポート等を通して、様々な視点から論理的に考える力や人の考えを聴き自分の意見を明瞭に伝える力、客観的に振り返り改善する力をぐーんと伸ばすことができましたように思います。頭を使う心地よさと苦しさを味わえること、生徒同士の絆が深まることも大きな魅力です。入学時点で全く視野になかった海外大学進学は、IBでの成長が自信となり挑戦しよう決めました。不安もありますが、IBで得た力をフル活用して自分なりに頑張り、これからもずっと学び続けたいです。IBに少しでも興味がある方は是非一度お越し下さい！ 実際見て聞いてやってみて気づくことも多いはずですので。



桑原快人さん

上智大学

理工学部

2 回生

出身中学

湖西中学校

IBDPを通じて培った力で特に生きていると感じるのが、書く力と批判的思考力です。

IBでは体裁が整った長い文章を書く機会が多々あり、次第に文章の「書き方」が身につきます。その力は大学でも大いに役立ちます。また、僕自身は、批判的思考力を「当たり前を疑う思考」と考えています。この力が特に鍛えられるのが、TOKです。TOKでは、可能な限り多面的に物事を捉え、答えが一つでない問いの答えを見出します。こうして身についた批判的思考力は、より深い考察を可能にし、意見文やレポートの質を高めるといったかたちで役に立っています。他にも英語力や挑戦する力など様々な力を身につけられます。興味がある方はぜひ挑戦してください。



八田かれんさん

九州大学

教育学部

1 回生

出身中学

高島中学校

私はIBコースでの経験を通じ、主体的に学ぶ姿勢を身につけることができたと感じています。IBでは、自分の興味のあることをテーマに論文を書くことがあり、決まった問いについて考えるだけでなく、自らテーマ設定をして学んだ経験から、自ずと主体的に学ぶ姿勢が身に付きました。このことは大学生活の中でも大変役に立っています。特に、レポート課題では、授業内容をまとめるだけでなく、独自の視点を持つことを意識したり、さらに気になる点があれば自分で探究を深めたりしています。進路選択に際しては不安もあると思いますが、自分自身と向き合い、ぜひ自分を成長させてくれるような道を選んでください。



高田理名さん

国際基督教大学

教養学部

2 回生

出身中学

長浜西中学校

虎高のIBで、試験のためだけの勉強ではなく、正解が一つでない問いに向き合い、意見交流したり、論文を書いたりした経験を通して学びの質が変わったと感じます。特に、環境システムと社会という英語で受ける授業は、英語力の伸びはもちろんのこと、環境問題への意識の差や地球温暖化の深刻さについて学び、個人がとるべき行動、また政府や国際機関にできることなど様々な視点で思考し、将来やりたいことを見つけるとも貴重な機会となりました。大学生の今もIBで経験できた問いの設定やディスカッションの力などが活かしています。成長も出会いもかけがえないものだったので、みなさんもIBに興味を持っていたら嬉しいです。



松浦七海さん

岡山大学

法学部

1 回生

出身中学

真野中学校

IBの10の学習者像としての成長が、大学生活をさらに豊かにしてくれていると実感しています。大学では様々な授業やプログラムが提供されていますが、自発的に行動しなければ何も始まりません。そこで、「挑戦する人」として、自信がないことでも躊躇せずに一旦取り組んでみる。という姿勢が、多くの経験を積み重ねていっています。

IB生として学ぶ中では、大変なこともちろんありました。ですがその中で、「振り返りができる人」や「バランスが取れた人」として少しずつ成長し、課題をやり遂げた時の達成感は忘れられません。このようなIBの魅力を、是非たくさんの方に体験してもらいたいです！



鳥居奨真さん

大阪公立大学

現代システム科学域

2 回生

出身中学

マキノ中学校

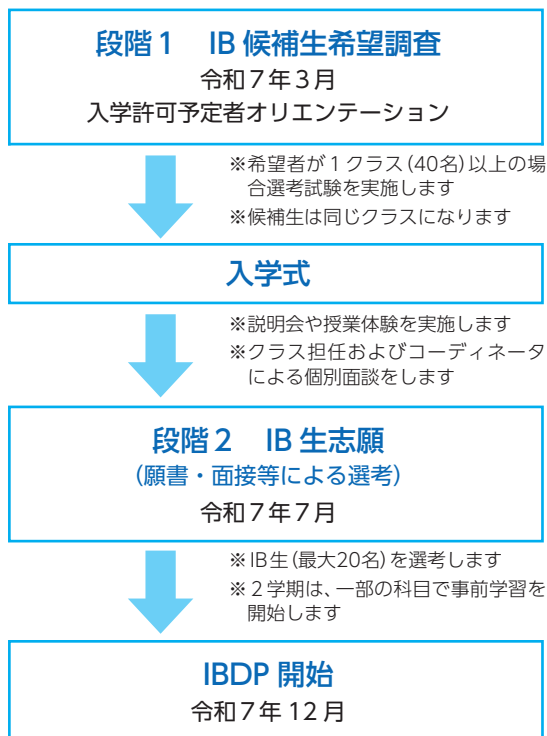
IBを通して得られた経験は、大学で大いに活かされていると感じています。ディスカッションや長文のレポートなどは、IBで培った自己表現力や論理的思考力、論述力などをそのまま活かすことができます。抵抗なくそういったことに取り組むことができ、IBの恩恵を感じることができました。また、IBを経験して良かったと思うことは、自分の興味の範囲が広がったことです。仲間や先生方との深い関係を築くことができたので、人との触れ合いからも幅広い知識を得ることが魅力的でした。少人数制はIBの特徴的な部分なので、少人数学習で深く学びたい、大学に似た勉強を先取りしてみたいという意味があればオススメです！

〈IB 生の選考について〉

1. IB 生は入学者選抜（特色選抜・一般選抜）で決定しますか。
※令和 7 年度入試の詳細は、募集要項でご確認ください。

⇒しません。まず、虎姫高校合格後の「入学許可予定者オリエンテーション」の際に、希望調査を実施します。以下の 2 段階を経て IB 生が決定します。

志願段階の流れ図



2. 入学後、IB 候補生でなくても IB 生になるための選考に志願できますか。
⇒できません。IB 候補生のみが 7 月に「IB 生志願」をすることができます。
3. IB 生の定員は何名ですか。
⇒最大 20 名まで IB 生になることができます。ただし、選考結果により、20 名を充足しない場合もあります。

〈学校生活について〉

4. IB 生だけのクラスをつくるのですか。
⇒IB 生だけのクラスは想定していません。3 学年を通し、IB（候補）生全員が他の普通科生徒（以下一般生）と同じクラスに所属します。DP の授業の時のみ別々に学習します。2・3 年は、体育など一部の科目と LHR を除き、大部分が DP の授業となります。
5. 週当たりの授業時間数は一般生と同じですか。
⇒1 年はほぼ同じ（33 時間）ですが、2・3 年は週に 34 時間になり、1～2 時間多いです。また、長期休業期間中に補充授業を行います。
6. 学校行事や生徒会活動は一般生と同じですか。
⇒学園祭・修学旅行などの学校行事や、生徒総会・委員会などの生徒会活動については、一般生と同じです。定期テストの時間など一部が異なります。
7. 部活動は一般生と同じように参加できますか。
⇒部活動の選択は自由に決めることができます。授業時間数が 1 時間多い金曜日は、部活動の開始時間が遅くなります。

〈履修について〉

8. DP 開始後、IB 生から一般生に変更できますか。
⇒カリキュラムの関係上、DP 開始後の変更はできません。
9. IB 生になるためにはどの程度の英語力が必要ですか。
⇒DP 開始時は、目安として英検準 2 級程度の力が必要です。
10. DP 開始後、英語力を伸ばす補習はありますか。
⇒必要に応じ英語力を伸ばすための補習を実施する予定です。
11. 海外研修はありますか。
⇒あります。今年度は以下の内容で実施します。
対 象：主に 2 年生（一般生を含む、20 名程度）
時 期：夏期休暇中（9 日間）
研修先：西オーストラリア（パース）
費 用：55 万円程度
12. 自然科学系（いわゆる理系）の大学に進学できますか。
⇒できます。IB 生となる際に、自分の興味関心に応じ、選択科目や科目のレベルを決めます。前ページの選択例を見てください。詳しくは、本校の IB 体験授業で説明します。

〈進路について〉

13. バカロレアの資格が取れない場合は卒業できないのですか。
⇒大丈夫です。本校の DP カリキュラムは文部科学省の定める学習指導要領にも対応しているため、所定の単位を履修修得すれば卒業できます。
14. IB 資格を使って日本の大学に進学する場合、どのような入試を受けることになるのですか。
⇒IB 資格を考慮した入試を実施している大学が増えてきましたが、IB 資格の取り扱いについては大学によって異なります。下に一部の例を挙げておきますが、令和 7 年度入学生が大学入試を受ける今から 4 年後には入試要項が変わる大学も出てくると考えられますので、随時情報提供していきます。
※詳しくは文部科学省ホームページ「IB を活用した入試制度」および各大学の募集要項で確認してください。

(令和 6 年度入試の例)

●金沢大学 国際バカロレア入試（全学類）

共通テスト・個別学力試験免除
書類・口述試験（学部により小論文等）

●大阪公立大学 国際バカロレア特別選抜 （現代システム科学域・文学部・生活科学部）

共通テスト・個別学力試験免除
書類・口述試験（学部により面接・小論文等）
※現代システム科学域については、IB 資格の取得見込みがあれば試験免除

●岡山大学 国際バカロレア選抜（全学部）

共通テスト・個別学力試験免除
書類・面接（学部により免除）

●上智大学 国際バカロレア入学試験（全学部）

個別学力試験免除
書類（学部により事前課題）

15. 海外の大学に進学する場合、入試はありますか。
⇒日本のような入学試験ではなく、書類審査が基本です。ただし、IB 資格のスコア以外にその他の英語力を測る試験の結果を求める国や大学もありさまざまです。個々の進路希望に応じて、随時情報提供します。

〈その他〉

16. 費用は、一般生とどのような違いがありますか。
⇒授業料は一般生と同じですが、IB コース用教材等の購入費と IB 資格試験の筆記試験受験料として 17～18 万円程度が必要です。その他に、PC の購入をおすすめしています。海外研修の費用は参加するプログラムにより別途必要です。